

第 17 回環境情報科学センター賞 受賞者

特別賞

受賞者：IAIA 16 日本委員会（委員長 原科幸彦氏）

**対象業績：国際影響評価学会 (IAIA) の世界大会の
日本初開催とその貢献**



【受賞理由】

国際影響評価学会 (IAIA) は、国連でも特別に認定されている世界 120 の国・地域の会員を擁する団体であるが、その日本初の世界大会の開催は、日本委員会の 2013 年からの長期間にわたる活動の結果であり、80 カ国から約 800 人が参加し、その 8 割が海外からの参加者であった。

わが国が世界的に見て制度的に遅れていると言わざるを得ない環境アセスメントの分野で、「Resilience and Sustainability: レジリエンスと持続可能性」という、パリ協定の合意や国連による持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) の採択によって世界的に注目されているテーマで開催されたことは、大変大きな意義をもっていると考えられる。

同世界大会では、日本からの情報発信も活発に行われ、国内的には、政府の、財務省を含む各省庁の後援を得るなど、政府各組織に対する環境意識の深化、民間金融機関の環境社会配慮の指針である赤道原則を採択しているメガバンク 3 行を含む金融機関の支援を通じての、環境影響評価に関する社会的な理解の拡大、国際的には、アジア太平洋地域での ODA 主要ドナー 4 者による「環境社会配慮推進への協働の調印」も行われるなど、社会的にも広く貢献しており、環境情報科学に関する学問及び技術の進歩・発展に広く貢献した事業として、環境情報科学センター賞の特別賞としてふさわしいものと判断する。